

## 令和3年度 県民の環境活動支援事業

## ちば里山カレッジ「拡げよう・つなげよう里山活動」実施報告書(2)

## 第2回「私と森とのかかわり方」

特定非営利活動法人ちば里山センター

題名	ちば里山カレッジ「拡げよう・つなげよう里山活動」 第2回「私と森とのかかわり方」
日時	令和3年7月10日(土) 10:00~16:00
会場	袖ヶ浦市ちば里山センター
出席者	受講生13名(9市1町)・講師3名、スタッフ2名
内容	<p>10:00~11:30 講義「さまざまな可能性に挑む」 一般社団法人もりびと 千葉 美賀子氏</p> <p>11:30~12:30 昼食</p> <p>12:30~16:00 講義・実習「身近な自然遊びのヒント」 千葉県自然観察指導員協議会 晝間初枝氏 尾澤信幸氏</p>
	<p>7月10日(土)第2回ちば里山カレッジがちば里山センターにて開催されました。テーマは「私と森とのかかわり方」です。</p> <p>午前中は一般社団法人もりびとの千葉美賀子代表による講義「さまざまな可能性に挑む」です。里山活動においていかに収益を得て次の活動に繋げていくかが語られました。多くの自然災害で倒れた樹木の処理、素人では手の付けられない樹木処理の請け負い、花卉業者へ薪の提供、メンマ製造の筍採取販売まで行い、新たな事業への挑戦へと余念がありません。受講者からもぜひ体験したい等の多くの質問がありました。最後にメンマの試食もあり市販のものよりずっと味わい深く、旨いものでした。</p> <p>午後からは千葉県自然観察指導員協議会晝間初枝氏及び尾澤信幸氏による講義・実習「身近な自然遊びのヒント」です。</p> <p>まず、ちば里山センターの外に飛び出して「自然大好きビンゴ」と称して自然の中でビンゴに書かれた青い花、きれいな落ち葉、木に咲く花...と16の項目を自然の中で探してくるというゲーム感覚で行い、最後に好きな木の枝を拾って教室に戻るというユニークな授業です。</p> <p>教室に戻って、セイタカアワダチソウの乾いた茎を使い、2、3本に折って重ねたものに毛糸を交差させて一定のリズムで巻いていくと思ってもよらない形に変化し、素晴らしいおみやげが出来ました。</p> <p>次に白い8x20cmに切ったダンボールが配られ、持ち帰った小枝を利用し、自由にオブジェの作成、自分のイニシャルを作る人と様々でしたがこのように自然のものを使い多くの遊びが出来る事を学びました。ぜひ多くの子供たちに教えたいたいです。</p>

添付資料（写真）



一般社団法人もりびとの千葉美賀子氏



里山団体として収益を得る為さまざまな可能性に挑む



千葉県自然観察指導員協議会晝間初枝氏と尾澤伸幸氏



さっそく里山センターの外に飛び出して



「自然大好きビンゴ」用紙を渡され 16 の項目を埋めていく



10分後に集合し16の項目を検証



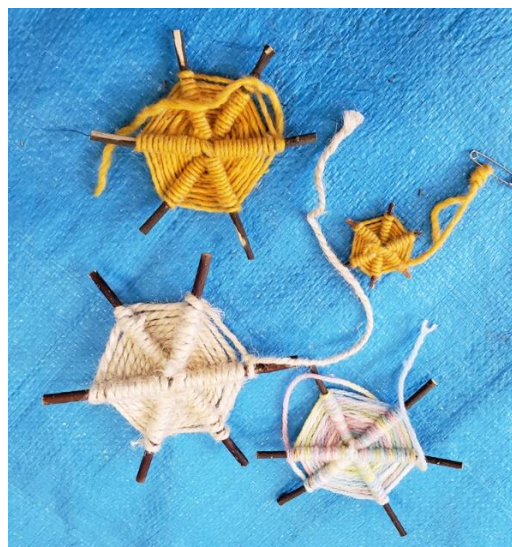
尾澤講師よりイヌマキの葉にて手裏剣作り



教室にもどり棒切れを1本から4本まで取り  
それぞれどの様に遊び工夫するか見てみます。



枯れたセイタカアワダチソウの茎を適当に折り毛糸を巻いていくと



このような完成品へと



拾ってきた木の枝を使い作品づくり



それぞれの個性がでます

それぞれの個性がでます



これは怪獣？



今日習った手裏剣が入ってます



これはカニかな



お昼のランチタイムに一般社団法人もりびとで企画販売されているメンマが試食として出され大変味わいがあり後を引く美味しさでした。

報告書作成 赤松 義雄